



イランカラッテ
「こんにちは」からはじめよう。

むろけん

VOL.33

北海道開発局

～ 室蘭開発建設部の事業や職員の姿を発信 ～

RUN

2019.10.30

【発行・編集責任者】

〒051-8524 室蘭市入江町1番地14
北海道開発局室蘭開発建設部
広報官 0143-25-7051
地域振興対策官 0143-25-7053



地域パートナーシップ活動

ICOM KYOTO ポストカンファレンスin北海道、伊達・洞爺湖

室蘭開発建設部では北海道総合開発計画における地域パートナーシップ活動として、伊達市、洞爺湖町等と2016年度に伊達洞爺湖ミュージアム地域振興プラットフォームを設立、世界文化遺産登録を目指している「縄文文化」を活用した観光地域づくりに取り組んでいます。今回、プラットフォーム活動の一環として、ICOM京都大会(9月1～7日開催)の関連イベント(ポストカンファレンス)を、地域・各機関と連携しながら調整を図り、9月8～10日にかけて伊達市・洞爺湖町等において開催しました。

ICOMトップのスイ・アクソイ会長を含む約40人の海外の関係者及び約20人の国内博物館関係者が参加し、「歴史をまもる、つなぐ地方博物館」をテーマとした国際シンポジウムのほか、縄文文化・アイヌ文化等の施設を見学し理解を深めるテクニカル・ビジットを実施しました。参加者からは大変好評をいただき、世界遺産登録を目指す縄文文化や地域の良いPRになりました。

※ICOM:国際博物館会議とは、ミュージアムの進歩発展を目的に設立された国際的な非政府機関です。世界138カ国(地域を含む)から約4万4千5百人のミュージアム関係者が参加しています。

国際シンポジウム



主催者代表 石森会長



同時通訳ブース

テクニカル・ビジット



白老にあるアイヌ慰霊施設にて



伊達北黄金貝塚

パネルディスカッション



Dr. Myriam NOREL DELSALLE

Dr. Toshikazu SASAKI

二風谷アイヌ博物館



だて歴史文化ミュージアム



洞爺湖入江貝塚

ウェルカム・レセプション



伊達市員によるおもてなしチーム



伊達市の藍染め体験



有珠善光寺にて茶道体験



ウェルカムレセプション



インフラツーリズムの取組

室蘭市による白鳥大橋、室蘭港を 活用したインフラツーリズムの検討

インフラツーリズムは、インフラの役割や意義などインフラへの理解を深めていただくため、普段訪れることのできないインフラの内部や、日々変化する工事中の風景など非日常を体験するツアーを地域と連携して展開することにより、地域に人を呼び込み、地域活性化に寄与することを目指すものです。

令和元年10月7日、室蘭市の新たな観光資源として、海上アクセスによる白鳥大橋の主塔見学を検討するため、室蘭市青山市長と室蘭開発建設部米津部長による視察を行い、メディアの方々にも多く取り上げていただきました。



白鳥大橋にて



TV局をはじめ、たくさんのメディアの取材を受け、大きく取り上げられました。



港湾業務艇「みさご」にて

室蘭港内を視察する
青山市長と米津部長

海上から見た白鳥大橋



普段見ることのできない角度から
白鳥大橋を見学できます。

インフラわくわくツアー ..五感で感じよう！「室蘭の歴史・産業とインフラ」が催行されました。

北海道開発局では、より多くの方にインフラに親しんでいただくために、昨年度実施した「インフラ歴史ツアー」の続編として、ツアーのテーマに「歴史」はもとより、地域の「産業」、「文化」、「食」といった様々な要素を取り入れた「インフラわくわくツアー」を、民間の旅行会社に催行の公募をかけ実施しました。

「インフラわくわくツアー」は、北海道開発局の施設に加え、地域の関係機関の施設も旅程に取り入れることで、ストーリー性を持った見学メニューや解説を行い、インフラの整備と地域発展の関係を実感できる内容としています。第1回目は9月20日、第2回目は10月17日に催行され、ツアー客は秋晴れの中、「鉄のまち・室蘭」を満喫していました。



こんな天井絵
もあります

旧室蘭駅舎

日本製鉄(株)室蘭製鉄所

工場見学は見てのお楽しみ

札幌



札幌からバスで室蘭へ

室蘭港内を説明する大西
室蘭港湾事務所副所長



室蘭港で
港湾業務艇
「みさご」に
乗船、室蘭
港内を見学

白鳥大橋の主塔に
昇り中間桁から見学



白鳥大橋について説明する大平
室蘭道路事務所副所長

旧三菱合資会
社室蘭出張所



室蘭港発祥の
地トキカラ
モイ棧橋跡

